

〔例題 1〕 社会的養護の現状に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 社会的養護を必要とする児童のうち、児童養護施設では、障害等のある児童の入所が減少しており、入所児童の約8.5%となっている。
2. 里親に委託されている児童のうち約30%、乳児院に入所している児童のうち約40%、児童養護施設に入所している児童のうち約60%が虐待を受けた経験がある。
3. より家庭に近い養育が目指されているため、社会的養護を必要とする児童のうち、里親に委託されている児童の割合は約50%に増加している。
4. 普通養子縁組は、子どもの福祉を積極的に確保する観点から、戸籍の記載が実親子とほぼ同様の縁組形式となっている。
5. 社会的養護関係施設については、施設長による親権代行等の規定があり、被虐待児等の増加で施設運営の質の向上が必要であるが、子どもが施設を選ぶ利用・契約制度であることから、第三者評価の実施は任意とされている。

〔正答 2〕

〔例題2〕 アンダー・アチーバーについての記述として妥当なのはどれか。

1. 知能が低いために学業成績が劣っている場合をいう。
2. 知的障害には該当しないが、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」、「計算する」、「推論する」のうち、特定のものだけに困難を示す。
3. 平均あるいはそれ以上の知能を持ちながら、それに相応した学業成績をあげていない子どもを指す。
4. 学力偏差値と知能偏差値を加算した成就値により判定する。
5. 身体的要因と性格的要因はアンダー・アチーバーの要因にはならない。

〔正答3〕

〔例題3〕 日本の保育の歴史に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 日本最初の官立幼稚園は、1876（明治9）年に設置された東京女子師範学校附属幼稚園である。当時まだ海外の幼児教育思想は伝わっておらず、独自の保育が展開された。
2. 幼稚園の保育目的、組織、保育内容などに関する基準として1899（明治32）年に国が最初に定めた「幼稚園保育及設備規程」には、保育項目として、健康、人間関係、環境、言葉、表現の五つの「領域」が設定された。
3. 城戸幡太郎は、自宅の私塾で青少年の教育にあたり、生徒の幼いきょうだいを無料で預かる保育事業を行った。これを1890（明治23）年に守孤扶独幼稚児保護会と称し、一般に公開した。
4. 倉橋惣三は、長年にわたり日本の幼児教育界の理論的指導者として貢献し、1934（昭和9）年に出版した著書で「誘導保育論」を提唱するなど、児童中心の進歩的な保育を進めた。
5. 1948（昭和23）年に刊行された「保育要領」は、国の示す最低基準としての性格が与えられ、小学校との一貫性を強調した内容が列挙された。

〔正答4〕